

# あさひ見聞録



3 / 2

## 旭市津波避難訓練

### 津波から命を守るため、訓練で備えを万全に



大津波を想定した津波避難訓練が実施され、沿岸部に住む人を中心に881人が参加しました。参加者は、災害発生時に備えて避難の手順や経路を確認しながら、避難場所となる学校の屋上や津波避難タワーへと向かいました。

メイン会場となった5か所の学校では、津波防災に関する映像が上映されたほか、消防署員による救命救急訓練も行われ、参加者はAEDの使い方や応急処置方法などを学びました。

- ①飯岡津波避難タワーに避難
- ②避難場所での受け付け
- ③救命救急のやり方を実演

2 / 21

## 第20回防火ポスターコンクール

### 小・中学生が火災の恐さや予防の大切さを呼びかけ

火災予防の重要性や必要性を広く知ってもらうことを目的に、市内小・中学生による防火ポスターコンクールが開催されました。

各学校から選出された181点の中から、旭市長賞(最優秀賞)に輝いた佐々木美琴さん(干潟小・4年)、岩瀬菜奈さん(三川小・5年)、宮内璃子さん(一中・1年)、安藤紗季さん(二中・2年)に賞状が贈られました。

左から佐々木さん、岩瀬さん、市長、宮内さん、安藤さん



2 / 20

## 旭の魅力为全国へ

### 官民一体のロケ支援が表彰



写真提供：ロケーションジャパン  
アワード受賞式

あさひロケーションサービス協議会と旭おっぺし隊が協力して行ったロケ支援が「ロケツーリズムアワード」で地域大賞を受賞。3年間で90件以上の撮影を受け入れた実績や、自治体初のロケ弁グランプリの開催が評価されました。

2 / 25

## 未来の旭を農業で担う

### 新規就農者が抱負を語る



新規就農者と市長

市内の新規就農者を応援する「羽ばたくルーキー農業者激励会」が開催され、キュウリや米などを栽培する農業者が参加しました。参加者は、就農したきっかけや日々の仕事に対する思い、今後の目標などを熱く語りました。



旭市公式LINE



旭市公式フェイスブック



旭市公式インスタグラム



旭市公式YouTubeチャンネル

## 叙勲

### 瑞宝双光章

[高齢者叙勲]



(教育功勞)

寺嶋剛さん 88歳(二)

昭和35年4月に教諭として奉職され、37年の永きにわたり教育活動に尽力されました。干潟中や印旛地区の中学校で社会科教育の充実に注力されたほか、八街市立八街中央中の校長在任中には、地域と連携した学校づくりに精力的に取り組むなど、教育の振興と発展に貢献されました。

## 議会に報告された寄付

※敬称略、順不同。

結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくりのため  
旭タンカー株式会社/金10万円  
リロン株式会社/金10万円  
飯岡中の備品として  
旭子ども応援隊代表 日本画家 椎名保/絵画2点(60万円相当)  
学校教育の充実のため  
椎名保/金30万円  
学校給食賄材料として  
有限会社ブライトピック千葉/豚肉214.9kg(50万円相当)  
干潟中・萬歳小・中和小・古城小の備品として  
干潟ライオンズクラブ/ツリーチャイムほか学校用備品一式(42万円相当)

3/9

### 海上・飯岡地域の防災拠点

## 消防本部東部分署が完成

消防本部海上分署と飯岡分署を統合した東部分署の完成を祝い、竣工式が開催されました。

式典後の内覧会では、新たな消防活動の拠点となる庁舎の設備や分署が担う役割の説明などが行われました。

テープカットで完成を祝う



3/1

### 今井内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官 津波の被害や復興状況を視察

今井絵理子政務官が、東日本大震災で被災した旭市を視察し、防災資料館で当時の被害状況などの説明を受けました。視察後は、いいおかユートピアセンターにある慰霊碑を訪れ、犠牲者に追悼の花を手向けました。



説明を受ける今井政務官

3/2

### 水神社永代大御神楽 観客の心をつかむ伝統の舞

県の無形民俗文化財に指定されている神楽が、後草地区の水神社で奉納されました。古式ゆかしい衣装に身を包んだ演者が、優雅な舞を披露したほか、舞台上からまかれた縁起物の餅や鯛には、大勢の人が手を伸ばしていました。



鯛を投げる大黒

3/9

### 防災の大切さを学ぶ 親子防災教室



防災バッグに入れるものを確認

防災意識を高め、万が一のときに親子で行動に移せるよう、防災教室が市民会館で開催されました。災害時に持ち出す物やハザードマップで避難場所を確認したほか、新聞紙を使った防災グッズの作成などが行われました。

3/11

### 東日本大震災から14年 鎮魂の祈りを込めて



手を合わせ冥福を祈る参列者

いいおかユートピアセンターにある慰霊碑前に献花台が設けられ、約50人が参列しました。地震が発生した午後2時46分に合わせて、防災行政無線のサイレンが鳴り響き、参列者は黙とうをささげた後、白い菊を献花しました。